

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	子ども・子育て支援新制度利用者支援事業			事業番号	07-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	子ども部	高梨 剛	子ども育成課	稲葉 一弘	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	2	子どもの成長をみんなで見守るまちづくり	
		施策展開の方向	3	子どもを産み育てやすいまちをつくる	
		施策	7	多様な働き方が選択できる保育の充実	
予算事業名	利用者支援事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成27年度	～	終了年度	
関連法令等	子ども・子育て支援法				
国・県の計画等	かながわ子どもみらいプラン			計画期間	令和2年度～令和6年度
関連個別計画	第2期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画			計画期間	令和2年度～令和6年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	児童の発達や養育力の低下、核家族化の進展による子育ての孤立化等、子育てを取り巻く環境が複雑、多様化している中、保護者から自分に合った子育て支援サービスに関するアドバイス、コーディネートを求める要望が増えてきています。				
目的 (何をどうしたいのか)	子ども・子育て支援専門員を配置することで、多様化する保育や子育て支援サービスの中から、各家庭の状況に応じた適切なサービスをコーディネートします。				
主な対象 (誰・何を対象に)	未就学児、小学生及びその保護者				
事業内容 (手段、手法など)	・多様化する子育てや保育に関する相談に対応するため、専門知識の習得や資質の向上を継続的に行います。 ・相談体制の拡充を図るため、土曜開庁日に合わせた窓口相談日等を設けます。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	子ども・子育て支援専門員の配置	2人	2人		
	相談箇所数	2箇所	2箇所		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	出張相談、休日・夜間相談の実施	2箇所 (令和2年度)	3箇所	3箇所	



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	保護者のニーズの把握に努め、教育・保育施設の案内や子育てに関する相談・アドバイス等きめ細やかなフォローを実施していきます。また、相談体制の拡充を図るため、土曜開庁日等に合わせた窓口相談日等を設定していきます。		
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>
	子ども・子育て支援専門員の配置	2人	
	相談箇所数	2箇所	
<b>実施した取組の内容</b>	子ども・子育て支援専門員「子育てコンシェルジュ」を2人配置し、市役所窓口をはじめ健康相談会場等の事業実施先やオンラインで、教育・保育施設の利用案内や子育て支援サービスに関する相談・アドバイス等、きめ細やかな相談を実施しました。		
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状値】</b>	<b>年度</b>
			<b>令和3年度</b> <b>令和4年度</b>
	出張相談、休日・夜間相談の実施	2箇所 (令和2年度)	3箇所

<b>コスト</b>	<b>年度</b>		<b>令和3年度 実績</b>				<b>令和4年度 実績</b>				
	<b>事業費合計 (a)</b>		6,836	千円							千円
	<b>内訳</b>	国県支出金 ①		5,695	千円						千円
		地方債 ②		0	千円						千円
		その他特財 ③		0	千円						千円
		一般財源 (a)-①-②-③		1,141	千円						0
	<b>国県支出金の内容</b>		子ども・子育て支援交付金 補助率:国2/3、県1/6、市1/6								
	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>		<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>					
		<b>その他</b>									
	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>		0.1	人	818	千円		人		千円
		<b>その他の職員</b>			人	0	千円		人		千円
		<b>人件費合計 (b)</b>		0.1	人	818	千円		人		千円
	<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				7,654	千円				0	千円
	<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	相談等対応件数			<b>単位</b>				
			<b>対象数</b>	2,622	件						
<b>総事業費 / 対象数</b>		2,919	円							円	

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	子育てコンシェルジュを2名配置し、様々な保育ニーズに対して、市役所窓口をはじめ健康相談会場等の事業実施先で、相談・助言等を実施しました。コロナ禍での新しい相談のあり方を検討し、オンライン相談を試行しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	各自治体で保育ニーズや保育の提供体制、地域性が異なるため比較は出来ません。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	保育ニーズや抱える不安等は保護者によって異なることから、一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな対応が必要です。また、子育てを取り巻く環境が複雑、多様化している中、子育て支援サービスに関する情報提供を実施することで、孤立化の防止に役立っています。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	健康相談や健診会場などへ出向き、保護者に身近な場所で適切な相談・助言等を行うとともに、必要に応じて関係機関との連絡・調整を行うことができました。また、オンラインでの相談会を実施し、コロナ禍での対面によらない相談業務のあり方について検討を行いました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	多様化する子育てや保育に関する相談に対応するため、子育てコンシェルジュの専門知識の習得及び資質向上を継続的に行っていく必要があります。また、相談を実施する場所や時間、時期等について、保護者のニーズを適切に把握していく必要があります。
令和4年度の取組方針		保護者のニーズの把握に努め、教育・保育施設の案内や子育てに関する相談・アドバイス等きめ細やかなフォローを実施していきます。また、相談体制の拡充を図るため、入所時期に合わせて、土曜開庁日やオンラインによる窓口相談日等を設定していきます。		
所管部長による総評		就学前児童数が減少していますが、保育ニーズは前年同様で維持している状況です。子ども・子育て支援新制度に加え、幼児教育保育の無償化など、子育て施策が多様化しており、本事業は重要かつ有効な事業であると認められます。保護者のニーズを的確に捉え、各家庭の状況に応じたサービスをコーディネートできるよう、引き続き、創意工夫が必要と考えます。		